

## 平成28年第12回狭山市定例教育委員会会議録

開催日時 平成28年12月20日(火)  
午後1時33分から午後2時40分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄  
教育長職務代理者 吉 川 明 彦  
委 員 荒 川 和 子  
委 員 橋 本 秀 樹  
委 員 宮 崎 英 子

欠 席 者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	小 澤 一 巳	次長兼教育総務課長	滝 嶋 正 司
社会教育課長	大 寺 宏 之	中央公民館長	田 中 肇 夫
スポーツ振興課長	栗 原 和 昭		
学校教育部長	井 堀 広 幸	参事兼教育指導課長	和 田 雅 士
教育センター所長	鈴 木 浩 明	書 記	中 山 昭 夫

傍 聴 者 数 0名

### 報告事項

- 平成28年第4回狭山市議会定例会の概要について

報告者 (生涯学習部長)  
(学校教育部長)

#### (要旨)

会期は、11月29日(火)から12月15日(木)までの17日間であり、議案は、条例一部改正11件、指定管理の指定1件、規約変更1件、補正予算3件、財産の取得1件、損害賠償の額について1件、市道認定2件の20件であり、条例一部改正には教育委員会関係2件が含まれており、それぞれ原案のとおり可決された。なお、採決の後に議員提出議案として、狭山市奨学金貸与制度の運用適正化による具体的運用基準の見直しにあたり各種要件について柔軟に対応することを求める決議が提案されたが、否決された。一般質問については、15名で、うち教育委員会関係は6名であった。金子広和議員から中央中学校(統廃合後の声)について、加賀谷勉議員から人の痛みを思いを寄せる教育の推進について、高橋ブラクソン久美子議員から市民の安心・安全につい

て、西塚和音議員から旧入間中学校の跡地利用について、笹本英輔議員から学校教育について、齋藤誠議員から教育力の向上について、それぞれ質問があり、それに対する答弁の内容について報告がなされた。

・第34回狭山市文化財防火デー防火訓練について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

今年度は、平成29年1月28日（土）午前9時から10時30分まで、瑞光寺で実施する旨の報告がなされた。

・平成28年度秋期企画展の開催結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

開館25周年を記念し、「アケボノゾウ展 ～体験冒険ワールド～」を、11月1日（火）から11月27日（日）までの23日間開催した。入場者数は2,390人で、1日平均104人であった旨の報告がなされた。

・公民館の夜間休館日（1月利用分）について

報告者（中央公民館長）

（要旨）

平成29年1月利用分は全館で41日間は夜間休館になる。水富公民館が15日間、堀兼公民館7日間、奥富公民館と柏原公民館が6日間と4館が非常に多い状況になっている旨の報告がなされた。

・クロスカントリー in Sayama 2016の開催結果について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

12月11日（日）に、県営狭山稲荷山公園特設コースにおいて実施した。今大会は、狭山市体育協会創立60周年記念の大会として、全国から1,000人を越える参加者があり、盛大に開催することができた旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、参加者の中で狭山市在住の方、また、近隣の方はどのくらいいるのかとの質疑に、申込者数で、1,047人のうちの狭山市が515人の49%であった。近隣市では、所沢市が66人の6.3%、入間市が65人の6.2%、飯能市が33人の3.2%であった旨の答弁がなされた。狭山の良い所で、狭山の市民も沢山参加して、近隣、また、全国から来てもらえとても素晴らしいスポーツの大会に定着してきたと思う旨の感想がなされた。

・おりぴいリンクオープンについて

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

人工スケート場おりぴいリンクは、地域スポーツ施設における指定管理者の自主事業であり、平成29年1月14日（土）から3月26日（日）までの土日・祝日及び春休み期間3月28日（火）から3月31日（金）までの合計27日間オープンするものである。プールの中にプラスチック樹脂のボードを敷き詰めた約100㎡の人工スケート場である旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、周知の方法、収容人数は、また、入場制限などはあるのかとの質疑に、周知方法は、広報紙、ホームページ、また、小中学校にはチラシを配布する予定である。収容人数については、他市の状況から

10～20名ぐらいの範囲と考えており、様子を見ながら入場制限をせざるを得ないかと思っている旨の答弁がなされた。ヘルメットなどの貸出しもするかとの質疑に、安全対策は十分にとっており、ヘルメット、膝当て、肘当てなども用意する予定と聞いている旨の答弁がなされた。手ぶらで入場料を払えば利用できるということかとの質疑に、そのとおりである旨の答弁がなされた。初めてであるし、殺到するといろいろな思いがけない事故などもあるかもしれないので、くれぐれも安全対策を願いたい旨の意見がなされ、安全対策については、指定管理者も思案中であるが、進行方向を一定にさせるなど他市の状況も参考にしながら何らかの運用が必要と考えており、協議していききたい旨の答弁がなされた。

・平成28年度第1回スクールカウンセラーの活動状況調査結果について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

調査期間は、4月1日から8月31日までである。市内8中学校にスクールカウンセラー5人が派遣されており、西中学校が単独、残りの7校が2人配置となっており、単独校が年45回、2人配置校が年22回から23回の配置となっている。1学期では延べ656件の相談があり、さやまっ子相談員、さやまっ子相談支援員、教員に対して不登校、発達障害、友人関係等の内容について指導の方針等のアドバイスを行うものが多くあった。さらに保護者、児童、生徒との面談が181件あった旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、スクールカウンセラーが学校に来る頻度はどの質疑に、1人配置校で週1回年間45回、2人配置校で2週間に1回年間22回から23回となっている旨の答弁がなされた。以前と比べると日数が多くなっているような気がするが、本来はしっかりと教員のサポートをしていく、実際の相談を受けると同時に指導の方針を指導してもらい、そのためにはもっと頻度を多くしてもらわないといけないと思っているので、教育委員会として国等に意見をあげるなど対応してもらいたい。以前は月1回のときもあり、スクールカウンセラーも現場の教員もなかなかうまく活用できないという状況があ

ったので、活躍してもらおうとともに活用できるように環境整備が大事だと思っている旨の意見がなされた。

- ・平成28年度狭山市小中学生英語フェスティバルについて

報告者（教育センター所長）

（要旨）

日ごろ学習している英語を使い、自分のことを表現することなどを目的に、平成29年2月4日（土）に入間川小学校講堂で開催する。対象は、市内在住の小中学生で、中学生には、運営の手伝いとしてボランティアの参加も募る。内容は、発表の部と交流の部で構成されている旨の報告がなされた。

- ・平成28年度狭山市立教育センター調査・研究事業研究委員会研究発表会（本発表）について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

本年度研究委員会が実施した調査研究及び事業研究会における成果を発表することで市内教職員の資質の向上と各小中学校における一層の授業改善や研究推進を図ることを目的として実施する。日時は、平成29年2月17日（金）午後2時30分から4時30分で、場所は入間川小学校講堂である旨の報告がなされた。

- ・各種審議会等における会議結果概要について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

平成28年度第1回狭山市立博物館協議会及び平成28年度第2回狭山市社会教育委員会議の開催結果について、その概要の報告がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事一覧について

報告者（教育指導課長）

（社会教育課長）

（要旨）

教育指導課関係1件及び社会教育課関係1件の申請があり、審査の結果、使用許可を行った旨の報告がなされた。

その他

- ・「吉野弘遺作展」の開催結果について

報告者（中央公民館長）

（要旨）

11月11日（金）から17日（木）までの7日間、狭山市民交流センターを会場に開催した。展示数約180点、祝婚歌の版画や色紙などをはじめ一般に

公表されていない遺族が持っている遺品等を展示した。来場者数は、7日間で1,769人であった。会期中のイベントとして講演や歌、朗読が行われた。また、中央図書館では「吉野弘著作展示コーナー」を11月1か月間開催し、直筆の色紙や貸出し図書、文芸狭山、市民文芸狭山などを展示していた。展示品46タイトル中貸出し可能な29タイトルをその期間貸出しをしたが、全冊数貸出しをすることができ、非常に好評だった旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、ショーケースは、手作りで鏡の反射を利用したりと素晴らしかったが、実行委員会の中にそういったことができる方がいるのかとの質疑に、以前、博物館に勤務していた方がおり、その方が中心となり、博物館のボランティアの方々に作ってもらった。なお、ショーケースやその脇の部分は、入間中学校の教室の扉や窓ガラスを使った旨の答弁がなされた。

以 上